



JASDAQ

平成24年7月25日

各 位

会 社 名 ハイブリッド・サービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 重川 晴彦
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理部長 池上 純哉
電 話 03-6731-3414

(訂正・数値データ訂正)「平成21年12月期 第3四半期決算短信」の一部訂正について

平成21年11月12日に公表しました「平成21年12月期 第3四半期決算短信」について訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯

訂正の経緯につきましては、平成24年5月31日付「第三者調査委員会の設置に関するお知らせ」、平成24年7月24日付「第三者調査委員会報告書の受領に関するお知らせ」及び本日付「過年度決算短信等の一部訂正及び訂正有価証券報告書等の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には____(下線)を付して表示しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	14,748	—	78	—	51	—	△28	—
20年12月期第3四半期	15,904	△9.3	△3	—	△39	—	△133	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年12月期第3四半期	△522	93	—	—
20年12月期第3四半期	△2,442	87	—	—

～後略～

(訂正後)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	14,689	—	73	—	51	—	△28	—
20年12月期第3四半期	15,904	△9.3	△3	—	△39	—	△133	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年12月期第3四半期	△522	93	—	—
20年12月期第3四半期	△2,442	87	—	—

～後略～

<添付資料>

(訂正前)

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、一部では景気持ち直しの動きも見られたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境でも、市場全体が拡大局面から成熟局面を迎え、さらに景気後退による個人や企業の節約志向の影響により消費需要が抑制され、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ごとの適正利潤の確保やコスト管理の徹底など収益力の向上に努めてまいりました。また、新タイプのLED照明、新衛生除菌水及びその専用噴霧器等の環境面を意識した新商材の拡充により環境事業への取組みを強化するとともに、親会社である株式会社エフティコミュニケーションズよりファシリティ関連事業を譲受けるなど、事業ドメイン拡大を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,748百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は78百万円（前年同期は営業損失3百万円）、経常利益は51百万円（前年同期は経常損失39百万円）となりました。また、特別損失として、当社が出資している匿名組合（プレミアム1匿名組合）の業務執行について不適切な事象が発生していることが判明し、回収懸念が生じた当出資金に対して投資有価証券評価損を計上したこと等により、四半期純損失は28百万円（前年同期は四半期純損失133百万円）となりました。

事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

～中略～

(その他の事業)

その他の事業は、国内では、ラベリング用品の売上が堅調に推移するとともに、新商材であるLED照明や事業譲受によるファシリティ関連の売上が新たに寄与したことにより、売上高は1,015百万円となりました。一方、海外では、利益確保を最優先としたリストラクチャリングに取組み、不採算事業の売上が減少したこと等により、売上高は167百万円となりました。

以上の結果、当事業における売上高は1,183百万円（前年同期比33.0%増）、営業損失は62百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

～後略～

(訂正後)

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、一部では景気持ち直しの動きも見られたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境でも、市場全体が拡大局面から成熟局面を迎え、さらに景気後退による個人や企業の節約志向の影響により消費需要が抑制され、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ごとの適正利潤の確保やコスト管理の徹底など収益力の向上に努めてまいりました。また、新タイプのLED照明、新衛生除菌水及びその専用噴霧器等の環境面を意識した新商材の拡充により環境事業への取組みを強化するとともに、親会社である株式会社エフティコミュニケーションズよりファシリティ関連事業を譲受けるなど、事業ドメイン拡大を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,689百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は73百万円（前年同期は営業損失3百万円）、経常利益は51百万円（前年同期は経常損失39百万円）となりました。また、特別損失として、当社が出資している匿名組合（プレミアム1匿名組合）の業務執行について不適切な事象が発生していることが判明し、回収懸念が生じた当出資金に対して投資有価証券評価損を計上したこと等により、四半期純損失は28百万円（前年同期は四半期純損失133百万円）となりました。

事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

～中略～

(その他の事業)

その他の事業は、国内では、ラベリング用品の売上が堅調に推移するとともに、新商材であるLED照明や事業譲受によるファシリティ関連の売上が新たに寄与したことにより、売上高は957百万円となりました。一方、海外では、利益確保を最優先としたリストラクチャリングに取組み、不採算事業の売上が減少したこと等により、売上高は167百万円となりました。

以上の結果、当事業における売上高は1,125百万円（前年同期比26.4%増）、営業損失は67百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

～後略～

5. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	14,748,016
売上原価	13,469,034
売上総利益	1,278,981
販売費及び一般管理費	1,200,616
営業利益	78,365
営業外収益	
受取利息	3,348
受取配当金	519
受取手数料	2,848
その他	6,152
営業外収益合計	12,869
営業外費用	
支払利息	37,295
その他	2,053
営業外費用合計	39,348
経常利益	51,885
特別利益	
固定資産売却益	2,510
投資有価証券売却益	671
貸倒引当金戻入額	500
特別利益合計	3,681
特別損失	
固定資産売却損	719
固定資産除却損	23
投資有価証券売却損	1,567
投資有価証券評価損	48,069
事務所移転費用	1,657
特別損失合計	52,036
税金等調整前四半期純利益	3,530
法人税、住民税及び事業税	10,122
法人税等調整額	21,891
法人税等合計	32,013
四半期純損失(△)	△28,483

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	14,689,516
売上原価	<u>13,415,034</u>
売上総利益	<u>1,274,481</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,200,616</u>
営業利益	<u>73,865</u>
営業外収益	
受取利息	3,348
受取配当金	519
受取手数料	2,848
受贈益	<u>4,500</u>
その他	<u>6,152</u>
営業外収益合計	<u>17,369</u>
営業外費用	
支払利息	37,295
その他	<u>2,053</u>
営業外費用合計	<u>39,348</u>
経常利益	<u>51,885</u>
特別利益	
固定資産売却益	2,510
投資有価証券売却益	671
貸倒引当金戻入額	500
特別利益合計	<u>3,681</u>
特別損失	
固定資産売却損	719
固定資産除却損	23
投資有価証券売却損	1,567
投資有価証券評価損	48,069
事務所移転費用	<u>1,657</u>
特別損失合計	<u>52,036</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>3,530</u>
法人税、住民税及び事業税	10,122
法人税等調整額	<u>21,891</u>
法人税等合計	<u>32,013</u>
四半期純損失(△)	<u>△28,483</u>

(第3四半期連結会計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,904,077
売上原価	4,485,730
売上総利益	418,346
販売費及び一般管理費	395,739
営業利益	22,607
営業外収益	
受取利息	1,067
受取配当金	219
仕入割引	680
受取手数料	669
その他	649
営業外収益合計	3,287
営業外費用	
支払利息	12,305
その他	1,949
営業外費用合計	14,254
経常利益	11,640
特別利益	
投資有価証券売却益	295
投資有価証券評価損戻入益	5,478
貸倒引当金戻入額	3,916
特別利益合計	9,690
特別損失	
投資有価証券売却損	288
特別損失合計	288
税金等調整前四半期純利益	21,042
法人税、住民税及び事業税	4,199
法人税等調整額	6,557
法人税等合計	10,756
四半期純利益	10,286

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,904,077
売上原価	4,485,730
売上総利益	418,346
販売費及び一般管理費	395,739
営業利益	22,607
営業外収益	
受取利息	1,067
受取配当金	219
仕入割引	680
受取手数料	669
受贈益	4,500
その他	649
営業外収益合計	7,787
営業外費用	
支払利息	12,305
その他	1,949
営業外費用合計	14,254
経常利益	16,140
特別利益	
投資有価証券売却益	295
投資有価証券評価損戻入益	5,478
貸倒引当金戻入額	3,216
特別利益合計	8,990
特別損失	
投資有価証券売却損	288
特別損失合計	288
税金等調整前四半期純利益	24,842
法人税、住民税及び事業税	4,199
法人税等調整額	8,103
法人税等合計	12,303
四半期純利益	12,539

(訂正前)

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)

	マーキング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,162,929</u>	<u>14,748,016</u>	—	<u>14,748,016</u>
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,183,703</u>	<u>14,794,041</u>	(46,024)	<u>14,748,016</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△62,852</u>	<u>346,496</u>	(268,131)	<u>78,365</u>

～後略～

(訂正後)

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)

	マーキング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,104,429</u>	<u>14,689,516</u>	—	<u>14,689,516</u>
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,125,203</u>	<u>14,735,541</u>	(46,024)	<u>14,689,516</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△67,352</u>	<u>341,996</u>	(268,131)	<u>73,865</u>

～後略～

